

ディボーション

義と正しさ

イエスの血によって、私は義とされ、正しいものとされました。まるで罪を犯したことがないかのように。



日 31/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

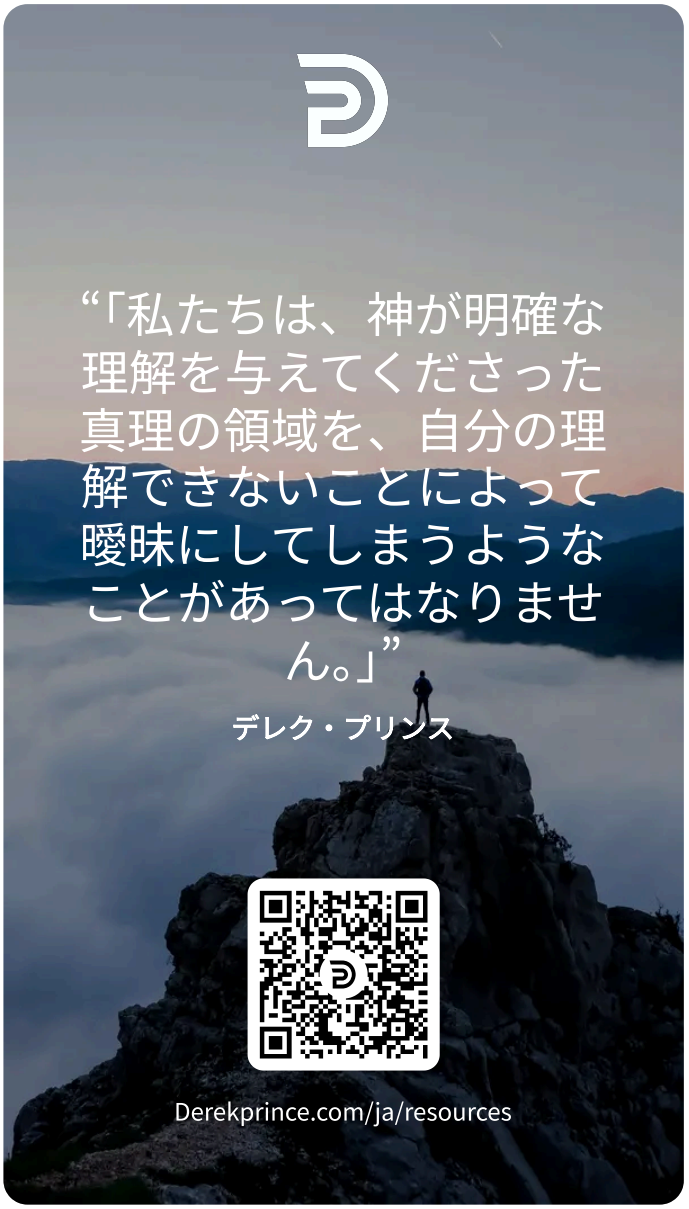
> ですから、今、キリストの血によって義と認められた私たちが、この方によって神の怒りから救われるのは、なおいっそう確かなことです。（ローマ５：９）

聖書で「正しい」という語を見つけたら、「義」と置き換えることができます。これは、旧約聖書のヘブル語にも、新約聖書のギリシャ語にも適用できます。英語のNKJVの翻訳者たちは、同じ語を「義」、「正しさ」と交互に翻訳しました。彼らは、法的手続きの文脈では「正しい」という語を使い、実際の生活の文脈では「義」を用いているようです。しかし、原文は一つの語なのです。

問題は、「義認」という語の使い方です。この語は、多くの解釈では天の法廷での法的決定を指して使われています。しかし、そのような使い方は、この語の意味の半分しか伝えられません。「義と認められる」とは、正しいとされる、義とされることです。「義」は、私たちの生活の場所、すなわち家庭、職場、人間関係にまでも及ぶものです。「正しさ」は、天ではなく、別の場所で法的に認められたものと言えます。聖書は、私たちはイエスの血によって義とされたと言っています（これは完璧で正しい翻訳です）。義とされていなければ、自分を正しい者と見なすことはできません。義認とは、法的な儀式や肩書を変えること以上のものです。それは、イエスの血によって生み出される、人格と人生の変化です。私たちは自分のものではない義、つまりイエス・キリストの義によって義とされています。

感謝します、主よ、イエスの血のために。私は、彼の血によって、自分自身のものではない義によって義とされていることを宣言します。イエスの血を通して、私は義とされ、正当化され、まるで罪を犯したことがないかのようにされています。アーメン。

ディボーション ★
原稿: WD-B097-031-JPN
最終更新日: 08 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 2008 - □□□□